



（1面よりつづく）  
川小学校を訪問し、一日目の講師の佐藤敏郎先生に旧大川小学校を案内いただき、当時の状況、なぜ甚大な被害を招いてしまったのか、亡くなった児童や教職員、ご遺族、関係者の方々の無念、そして小さな命の無念について、感じ、考える時を与えられました。旧大川小学校のことを黙想するとき、い

ことも心に浮かぶのが、事後の検証によって明らか

にされた杜撰な防災計画や学校管理の問題です。そして、学校のあり方を考えたときには「救えなかつた命」であり、しかも、現場にいた教師らにとっては「救いたかつた命」なんだという言葉で



今年、オンラインとの

参加者は真夏の旧大川小学校のグラウンドで、3月11日の津波に呑み込まれ、破壊された校舎、凍てつく夜を想像しながら、自分たちが責任をもつそれぞれの学校の子どもたち、生徒、学生らの命を守るために、何をすればよいか、祈りながら考えを深めたことでした。

その後、バスは追波湾を北上し、沿岸部分の大規模な嵩上げ工事がほぼ完了して復興計画完了間近の南三陸町役場を訪問しました。町役場では佐藤仁町長にお出迎えいただき、これまでの町の歩みについてご紹介いただきました。そして、震災後に発足した南三陸研修

センターにて、当時の副町長として町の復興に尽力された遠藤健治氏に講演をいただき、防災庁舎跡地、復興記念公園を案内していただきました。ぜひ来年度は全国から多くの方々にご参加いただき、顔の見える関係づくり、輝く命を守るための取り組みを一緒に考えていただければと願っております。

東洋英和女学院小学部部長、全国災害支援ネットワーク委員長 吉田太郎  
「東洋英和女学院小学部部長、全国災害支援ネットワーク委員長」

去る8月2日(火)に、(中高)で行いましたが、第9回中堅教員リトリート(節目研修)がオンラインで開催されました。

当初は捜真学院の自然教室をお借りして、8月2日から三泊三日で実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、やむなく1日目のオンラインでの開催へと変更せざるを得ませんでした。研修は、講師2名、実行委員の4名を含め18名(小

院小学校聖書科講師)が

奨励をして下さいました。先生は詩編の84編に基づき、研修会全体を山に、研修を行うことを登山に喩えつつ、ガリラヤ湖周辺の山の写真を見せて下さりながら、この研修をもつことの意味と意義を、そして希望を示して下さいました。

発題は、午前中の一部と午後2部に分けて中根広秋先生(前西南学院中学校・高等学校校長、福岡音楽学院付属幼稚園園長)が担当して下さいました。1部では「重荷を担い合い、喜びを分かち合う一教師として働くこと」を主題として、先生の長年の教員生活の経験を通して、「教員は、神様によって仲間と生徒に出会わされている。従って、教員には、愛の律法を全うするために共に

仲間の重荷を担い合って支えあうこと、そして生徒たちの重荷を知って共に歩むことが求められている。」と語って下さいました。2部では、2019年12月にアフガニスタンで銃撃されて死去した中村哲氏のことを中

心に据え、「キリスト教学校の使命は、平和を現する新しい人を育てることである。」と語って下さいました。

### 第9回中堅教員リトリート

「キリスト教学校の中堅教師として、今、切実に求められていること」

村瀬 泉  
「西南女学院中学校・高等学校校長、中堅教員リトリート実行委員」

今年度はオンラインの形態で開催された「教員リフレッシュ研修」(同じく、立ち止まって見つめ直そう)の思い描く理想と現を踏まえて。人と人と

「一人でも参加する人がいたら対面で行うような気がしてならなかった」とは長谷川委員長の話だが、この言葉

「平和といのちに向き合う」ウクライナ情勢とコロナ禍

第55回全国聖書科研究集会

第24代高校生平和大使

### 第2回教員リフレッシュ合宿

「立ち止まって見つめ直そう」

開会礼拝(川俣茂委員)の後、水口洋先生(玉川聖学院教育相談顧問)の発題と「振り返り」と静まりの時。発題1史と文化を十分に感じさせる中で、屋外早天礼拝者がある「ことに気づく」。

初任時の思いや自分の思い描く理想と現を踏まえて。人と人と

「一人でも参加する人がいたら対面で行うような気がしてならなかった」とは長谷川委員長の話だが、この言葉

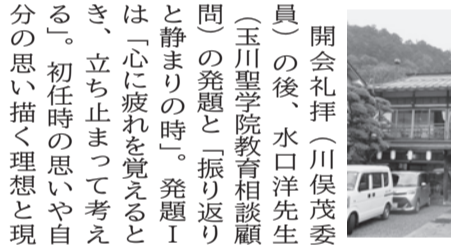
「平和といのちに向き合う」ウクライナ情勢とコロナ禍

第55回全国聖書科研究集会

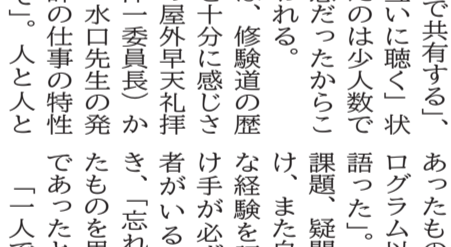
第24代高校生平和大使



オンラインでの開催



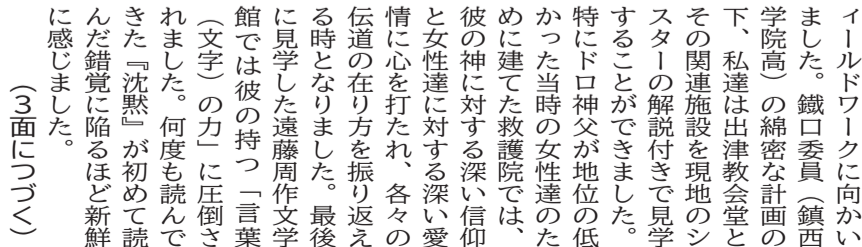
広い空間でリラックス



屋外での礼拝



第55回全国聖書科研究集会



第24代高校生平和大使

敵とも共生する、新しい世界体制を構築すること



(3面よりつづく)  
誠先生(青山学院横浜英和)の閉会祈禱をもつて、半日の研修が終了しました。主のご計画によって、各校に加えられた新任教員のお一人おひとりが、与えられた使命を全うしていくうえで、多くの示唆を頂く研修となったことでしょうか。

〈恵泉女学園中学高等学校校長、新任教師研修会実行委員〉  
本山早苗

## 第64回 夏期研修会

### 関西地区



8月2日(火)～3日(水)に「京都ガーデンパレス」にて標記の研修会が行われました。「希望と喜びに生きる―新たな転換期に立つキリスト教学校」という主題で、種々のプログラムが実施

#### 木原活信氏の主題講演

「一人一人は大切な存在」という言葉が、キリスト教が目指す喜びは「一人一人」を見

「水」に「京都ガーデンパレス」にて標記の研修会が行われました。「希望と喜びに生きる―新たな転換期に立つキリスト教学校」という主題で、種々のプログラムが実施

## 西南地区 第62回新任教師オリエンテーション 第72回夏期学校

7月28、29日西南地区新任教師オリエンテーションおよび夏期学校が長崎市のサンプリエールで開催された。28日午前に行われた新任教師オリエンテーションでは、西南女学院の向雅彦理事長が「希望と喜びに生きる―新たな転換期に立つキリスト教学校」が抱える問題、学



〈桃山学院高等学校司書 浜野 淳 教諭〉

7月28、29日西南地区新任教師オリエンテーションおよび夏期学校が長崎市のサンプリエールで開催された。28日午前に行われた新任教師オリエンテーションでは、西南女学院の向雅彦理事長が「希望と喜びに生きる―新たな転換期に立つキリスト教学校」が抱える問題、学

午後からは夏期学校の開催となり、森本あんり東京女子大学学長が「リベラルアーツとキリスト

「一人一人は大切な存在」という言葉が、キリスト教が目指す喜びは「一人一人」を見



小西哲郎 長崎学院学院宗教主任

「一人一人は大切な存在」という言葉が、キリスト教が目指す喜びは「一人一人」を見

「一人一人は大切な存在」という言葉が、キリスト教が目指す喜びは「一人一人」を見

「さて、彼らはアジア州で御言葉を語ることを聖霊から禁じられたので、フリギア・ガラテヤ地方を通って行った。ミシア地方の近くまで行き、ピティニア州に入ろうとしたが、イエスの霊がそれを許さなかった。それで、ミシア地方を通ってトロアスに下った」(使徒言行録16章6～8節)

「さて、彼らはアジア州で御言葉を語ることを聖霊から禁じられたので、フリギア・ガラテヤ地方を通って行った。ミシア地方の近くまで行き、ピティニア州に入ろうとしたが、イエスの霊がそれを許さなかった。それで、ミシア地方を通ってトロアスに下った」(使徒言行録16章6～8節)

この聖書の御言葉は、使徒パウロが「御言葉を語り、イエス様の福音を伝えて、教会を開拓しようとしていたのに、それがなかなかうまくいかなかった、という場面です。パウロたちは現代言うトルコ国内で、教会開拓では足踏みしながら、各地を転々としていたこととなります。

この聖書の御言葉は、使徒パウロが「御言葉を語り、イエス様の福音を伝えて、教会を開拓しようとしていたのに、それがなかなかうまくいかなかった、という場面です。パウロたちは現代言うトルコ国内で、教会開拓では足踏みしながら、各地を転々としていたこととなります。

「聖霊から禁じられた」「イエスの霊がそれを許さなかった」という記述の具体的な内容は、よく分かりません。実際に聖霊の声を聞き、イエス様の幻を見ていたのかもしれませんが、コロナ禍の中の私たちのように、様々な外的要因で行動が制限されていた、という意味にも考えられます。

「聖霊から禁じられた」「イエスの霊がそれを許さなかった」という記述の具体的な内容は、よく分かりません。実際に聖霊の声を聞き、イエス様の幻を見ていたのかもしれませんが、コロナ禍の中の私たちのように、様々な外的要因で行動が制限されていた、という意味にも考えられます。

#### 聖書のことば



羽島 健司

の御旨」として受け入れた、ということになります。「聖霊」と「イエス」に、「父なる神様」を合わせると「三位一体の神様」と呼ばれます。ですからパウロたちは、自分たちが受けている「行動制限」をも、三位一体の神様のご計画として受け入れた、と考えられます。

ここに、私たちが学ぶべきポイントが二つあるように思います。それはまず、自分のせいではないのに物事を進められず、色々と行動制限を受けても、それがむしろ神様のご計画という時もある、ということ。

そして、神様を信じる者は、「神様があえて止めておられる」時にはそれを正しく感じ取り、自分の願望を無理に進めたりはしないで、制限をポジティブに受け入れて待つことができる、ということ。

その後パウロたちは、トロアスの町で神様の導きを受け、ギリシアに渡り、ヨーロッパ伝道へと踏み出していくこととなります。皆様にも、そのような祝福された導きがありますようにと願います。

〈清教学園中学校・高等学校聖書科常勤講師〉



西南女学院理事長の向雅彦氏による講演

<行事予定> (変更の可能性あり)	
10/20~21	第64回中高研究集会 (プール学院)
11/4~5	第64回学校代表者協議会 (大阪女学院) (オンライン出席可)
19	キリスト教学校教育懇談会第20回講演会 (オンライン)
26	第8回キリスト教看護教育推進会議 (オンライン)
2023年	
1/13~14	第65回小学校代表者研修会 (同志社国際学院初等部)
6/2~3	第111回定時総会 (八代学院)

#### 事務局だより

夏ごとに記録的な猛暑、台風が襲う時代です。静岡豪雨の影響を受けた加盟校、学生・生徒・児童の家庭のご苦勞を思います。

文具店に行くとき来年のカレンダーが並んでいました。時に追いかける思いがします。今年度も7割の研修会が終わり、今年報告の半数が対面、半数がオンラインでした。対面開催では開催可能かどうか、参加者、委員の方々が直前まで判断に悩みました。

「一人でも参加者がいたら開催」の思いは研修会開催の決意であり、精神を表す言葉でした。

今、キリスト教学校教育にあつて考えるべきことは何か? 学校代表者協議会では対面を基本にキリスト教平和学と旧統一協会を取り上げます。カトリック学校との共催の講演会でも平和教育の本質と原点をどなたでも参加可能なオンラインで共に考えます。

事務局長